様式第３号

令和６年度　学校経営報告書（自己評価）

学校番号	72	学 校 名	浜松南高等学校	校 長 名	鈴木　学

評価	基　　準	評価	基　　準
A	十分目標を達成することができた（達成値≧目標値+5 ポイント）	C	あまり目標を達成することができなかった　（-5 ポイント＞達成値≧-10 ポイント）
B	おおむね目標を達成することができた（+5 ポイント＞達成値≧-5 ポイント）	D	ほとんど目標を達成することができなかった　（達成値＜-10 ポイント）

基準は目安であり、数値の限りではない。

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア高い志を育む	a 自己理解を深めさせる	自分の興味・関心や適性を踏まえて進路を考えていると答える生徒80%以上	自分の興味・関心や適性を踏まえて進路を考えていると答える生徒 86.8%	A	・進路指導をメインに様々な機会を使って、生徒が将来を考える機会を提供できた。 ・昨年度より達成状況が上がっている。特に３年生の肯定的回答の割合が高くなっており、３年次の探究の充実をさらに目指したい。
	b 志を育む情報と機会とを提供する	自分の将来に対するはっきりとした夢や希望を持っていると答える生徒70%以上	自分の将来に対するはっきりとした夢や希望を持っていると答える生徒 67.6%	B	・将来を真剣に考えるほど現代社会の課題に目が向けられ、夢や希望に繋がりにくい現状が見られる。 ・特に１年生の肯定的回答が60%と低く、入学時の進路希望調査の「進路未定」率の高さとも関連しているかもしれない。自らの進路について「なんとなく」決めている生徒が多い。 ・理数科は、年間を通し様々な行事を校内・校外において実施し、学年が上がるにつれ、目標が明確になっている。１年から目的をもって行事に取り組むよう指導が必要。
	c きめ細かな進路指導を行う	進路指導が充実していると答える生徒 80%以上	進路指導が充実していると答える生徒 75.3%	B	・昨年度よりさらに下がった。１・２年生では肯定的回答が多いので、３年時の指導の充実が課題である。 ・社会で必要とされる力が大学入試に反映され、入試の多様化への対応が困難となっている。

様式第３号

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
イ学力を伸ばす	a 学習意欲、思考力・判断力・表現力、知識・技能等を育む授業を充実する	授業が充実しており、学習意欲が高まったと答える生徒 80%以上	授業が充実しており、学習意欲が高まったと答える生徒 74.9%	C	・情報機器を用いて授業をする教員は増えている。 ・「探究」を得意としない生徒が一定数存在していると考えられる。 ・下２つの項目の評価と比べると、きちんと習うことはできているが、授業で意欲を引き出す部分が不足している。 ・授業での学習意欲を高めることが、学校への出席率にも繋がる。 ・業務改善等を行い、教員の授業力向上が急務である。
		授業で、習得した知識・技能をもとに、より深く学ぶことができたと答える生徒 80%以上	授業で、習得した知識・技能をもとに、より深く学ぶことができたと答える生徒 79.4%	B	・深い学びは難しい問題を解くことではなく、本質を理解することである意識の醸成が必要。 ・教員の割合は83.9%で生徒の意識と乖離が少なくなった。引き続き家庭学習の質、思考力・判断・表現」の評価なども併せて考えていく必要がある。
		授業がわかりやすく、基礎的・基本的な知識・技能が身に付いたと答える生徒 85%以上	授業がわかりやすく、基礎的・基本的な知識・技能が身に付いたと答える生徒 79.4%	C	・「知識・技能」と「思考・判断・表現」のバランスを考慮した授業展開の継続が必要。 ・こうした授業を目指す教員の割合は90.3%と高いが、生徒の意識と乖離があり、生徒の実態に即した授業内容を検討すべきである。
	b 主体的な学習習慣を身に付けさせる	家庭学習時間 平日２時間以上 休日３時間以上 主体的に学習する習慣があると答える生徒 70%以上	家庭学習時間 平日２時間以上 休日３時間以上 50.8% 主体的に学習する習慣があると答える生徒 60.5%	C	・１・２年生が昨年より極端に低くなっており、原因を考える必要がある。学習の必要性を理解させる指導を行い、学習時間と質が学力の定着に結びつくと実感できる環境づくりを目指したい。目標値の根拠を示し、意欲を向上させる仕掛けが必要。 ・登下校や部活動で時間確保が困難な生徒もいる。
		補習等授業以外学習機会が充実していると答える生徒 80%以上	補習等授業以外の学習機会が充実していると答える生徒 75.3%	B	・目標には届いていない。土曜補習の在り方を検討するにあたり、スタディサプリ等の積極的活用が必要ではないか。

様式第３号

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		学習活動で励ましあう友人がいると答える生徒 90%以上	学習活動で励ましあう友人がいると答える生徒 87.7%	B	・身近な関係では学びに向かう学習集団が形成できている。 ・一部の生徒間でわからないところを互いに教えあう姿が見られた。これを全体に広げていきたい。 ・２・３年生は１，２年次よりも肯定的回答が増えているのが良い。３年生ではさらに高まってほしい。
		月に１冊以上読書をしていると答える生徒70%以上	月に１冊以上読書をしていると答える生徒 52.0%	D	・朝読書時間の削減（10分から5分に短縮）の影響が出ている。朝読書以外に読書を推進する方法を考える必要がある。 ・教員の読書に対する意識の低さが要因となっている。 ・月１冊以上が読書習慣なのかを含め再検討が必要。
ウ人間力を高める	a 自己管理力を高める	遅刻早退欠席計3回以内 75%以上 毎日朝食摂取 95%以上 睡眠時間6時間確保 55%以上	遅刻・早退・欠席計３回以内 65.7%(２学期まで) 毎日朝食摂取 97.6 % 睡眠時間６時間確保 未実施	B	・学校の意義や必要性を理解している生徒が少ない。高校生活でしか学べないこととは何か、学校生活の大切さを伝え続けたい。 ・毎日の朝食接種率は各学年高い数値になっている。
		交通法規を守っていると答える生徒 90%以上 重大な交通事故ゼロ 避難先や避難経路を把握していると答える生徒 80%以上	交通法規を守っていると答える生徒 88.5% 重大な交通事故 ０ 件 避難先や避難経路を把握していると答える生徒 75.5%	B	・生徒の意識と、事故や自転車の交通違反切符が多い実態に乖離が見られる。(同じ生徒が繰り返しているかもしれない。）日常生活での注意喚起を、根気強く行っていきたい。 ・南海トラフの危険性が高まる中で重要な項目であり、具体的な場面を想定しながら、意識を高める必要がある。
		校則やマナーを守っていると答える生徒 90%以上 提出期限を守る、役割を果たしていると答える生徒 90%以上	校則やマナーを守っていると答える生徒 88.8% 提出期限を守る、役割を果たしていると答える生徒 82.8%	B	・新制服の運用や、携帯電話の使用など、生徒が考えるルールやマナーの解釈に差があり、指導が難しかった。生徒の主体性を大切にしながら、教職員が統一した見解をもって指導に当たりたい。 ・高校でしか学べない集団生活の意義と責任を身に付けさせる必要がある。

様式第３号

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
	b 主体性・創造性・協働性を育てる	**学校行事により人間力が高められたと答える生徒** **80%以上**	**学校行事により人間力が高められたと答える生徒** 86.7%	A	・生徒が主体となって、行事を企画し運営できた。いろいろな生徒が活動する行事を通して生徒の成長が見られた。 ・感染症対策の制限なく行事を行うことができ、高評価につながったのではないか。
		部活動により人間力が高められたと答える生徒 80%以上 部活動と学習活動を両立させている答える生徒 70%以上	部活動により人間力が高められたと答える生徒 82.0% 部活動と学習活動を両立させている答える生徒 75.8%	B	・各部活動が、熱心に取り組み、学校が盛り上がった。人間力の育成、人間性の成長に繋がったと感じた。 ・大学入試の評価に高校生活での実績が評価の対象となるため、部活動による人間力向上の重要性を説く必要がある。次年度以降、部活動への自由加入となっても、学校として加入を奨励していきたい。
エ 安全・安心な教育環境を整える	a 施設・設備を整備する	学習に関わる施設・設備が整えられていると答える生徒 70%以上 体育・部活動等に関わる施設・設備が整えられていると答える生徒　70%以上 校内美化（掃除等）に努めていると答える生徒　80%以上	学習に関わる施設・設備が整えられていると答える生徒 79.8% 体育・部活動等に関わる施設・設備が整えられていると答える生徒　71.4% 校内美化（掃除等）に努めていると答える生徒　80.1%	B	・Ｒ９年度の新校舎移転を控え、既存校舎において、様々な不具合が発生したが、生徒の安全及び環境整備を最優先に考え、迅速な対応と適切な予算措置を講じて対応した。今後も、生徒が安心して学べるよう、安全な教育環境の整備に尽力していく。 ・校内美化について、前年度より評価は低くなっているが、80%は超えることができた。
	b 教育相談活動を充実する	悩みを相談できる人がいると答える生徒 85%以上	悩みを相談できる人がいると答える生徒 83.8%	B	・目標値よりも少し数値が下回ってしまったが、学校生活を安心して送っている生徒が多い。
	c 広報を充実する	（本校の教育方針や教育活動を、配布物やホームページ等を通じて）わかりやすく伝わっていると答える保護者 80%以上	（本校の教育方針や教育活動を、配布物やホームページ等を通じて）わかりやすく伝わっていると答える保護者 83.6%	B	・ホームページが新システムに変更されたが、スムーズに移行ができた。 ・ホームページや浜南高通信での手立ては変わっていないが、PTA総会の参加率は59%から66%と高くなった。 ・校長ブログを立ち上げた。日々の教育活動の発信に努めたい。
	d　業務改善を図り教職員の健康を保持する	ストレスチェック分析事業で総合健康リスクが100（全国平均）を下回る	ストレスチェック分析事業で総合健康リスク 約10ポイント低い	A	・教職員全員がストレスチェックを実施し、健康管理を保持している。 ・業務改善を進め、健康な働き方の意識を高めたい。